

抗議声明

ロシア・プーチン政権のウクライナ軍事侵略を弾劾します

2022年3月24日
文化団体連合会常任委員会

(1)

ロシア・プーチン政権によるウクライナ軍事侵略から一ヶ月、戦争はその惨たらしさの度をいっそう増しています。肥沃なウクライナの大地とそこに住まう豊かな文化を育んできた人々を、クラスター爆弾や燃料気化爆弾、極超音速ミサイルなどありとあらゆる残虐な兵器で攻撃し、劇場に避難した民衆を建物ごと破壊し生き埋めにする蛮行を絶対に許すことはできません。

(2)

いまプーチン政権がウクライナでやっていることは、ウクライナの国家と民族とを抹消することを意図した、ナチス・ヒトラーにも比すべきジェノサイド(大量殺戮)攻撃にほかなりません。私たちは、ロシア軍の侵略にたいして、不屈に抵抗を続けるウクライナの民衆に心からの連帯の意を表明します。また、FSB(ロシア連邦保安局)を中枢とするプーチン政権の凶暴な弾圧に抗して、「戦争反対」の声をあげているロシアの民衆とも連帯します。

(3)

文化サークル活動に携わるものとして「言論・表現の自由」と「平和主義」を重んじてきた私たちは、プーチン政権が軍事力でウクライナを侵略し、ロシア国内においては、反戦の声を強権的に押しつぶしていることを決して看過することはできません。

いま世界中の文化人・知識人がウクライナ反戦の声をあげています。ここ日本でも、心ある文化人や本学をはじめとした研究者が陸続と抗議声明をあげています。私たちも、彼らと連帯して、ここ早稲田のサークルから、目の前の侵略戦争に反対する声を大きくあげていこうではありませんか。

同時に私たちは、ロシア文化を排除する動きや、ロシア人へのヘイトにたいしても反対しましょう。私たちは、すべてのサークル員のみなさんに、ともに反戦の声をあげられんことを心から呼びかけるものです。

以上